

II

岡山県の少子高齢化と障害者の現状

1 少子高齢化

急速に進展する高齢化の中で、高齢者を社会的弱者として見るのではなく、多様な個性や価値観、様々な経験と能力を有する人間として、その尊厳と誇りを尊重し、一人ひとりの人生が大切にされ、いきいきと心豊かに生活できる社会を実現する必要があります。このため、高齢者が地域社会と関わりを持ちながら、生き甲斐を持って生活ができ、健康づくりに積極的に参加できるようなまちづくりを進める必要があります。

また、少子化の対策として、結婚や子育てに夢を持てる環境や子どもを安心して育てられる環境づくりを進める必要があります。

●全国状況

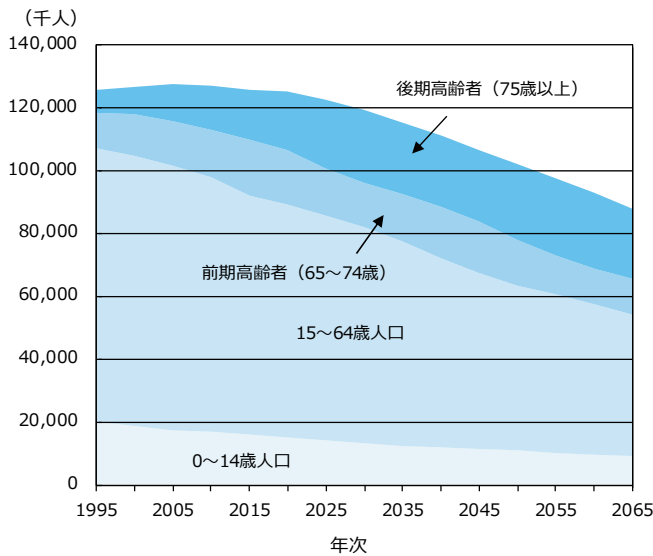
我が国の人口は、2008年をピークに減少に転じ、2053年には1億人を割って9,924万人となり、2065年には8,808万人になると推計されています。

※2015年の全国の合計特殊出生率（統計により算出される一人の女性が一生の間に産む子どもの数）は

1.45で、人口を維持するのに必要な水準である2.07を大きく下回っています。

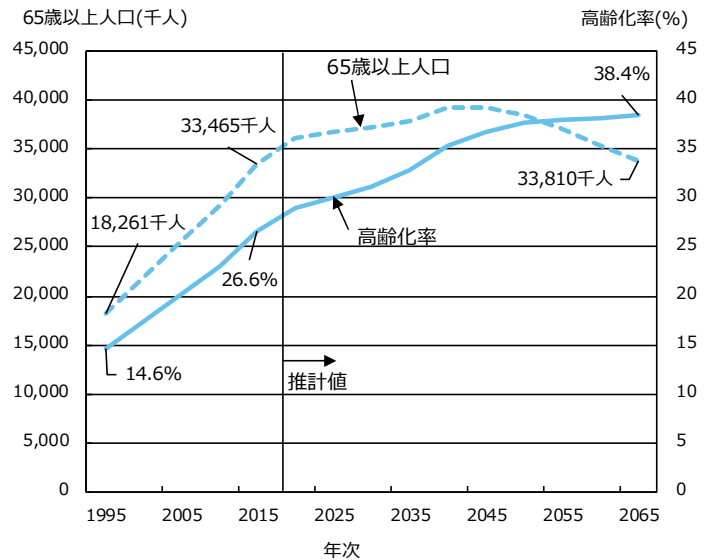
一方で、高齢化率（65歳以上の人口／総人口）は今後も上昇を続け、2065年には38.4%まで上昇し、約2.6人に1人が高齢者になると見込まれています。

図1：総人口の見通し



出典：総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）：出生中位・死亡中位推計」

図2：高齢化率の推移

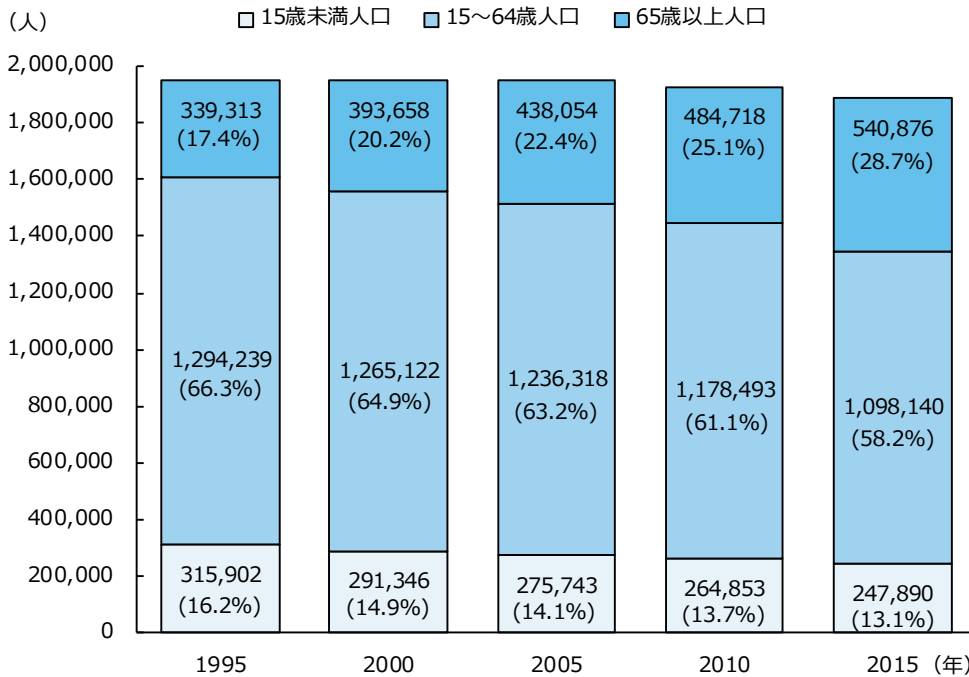


出典：総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」

●岡山県の状況

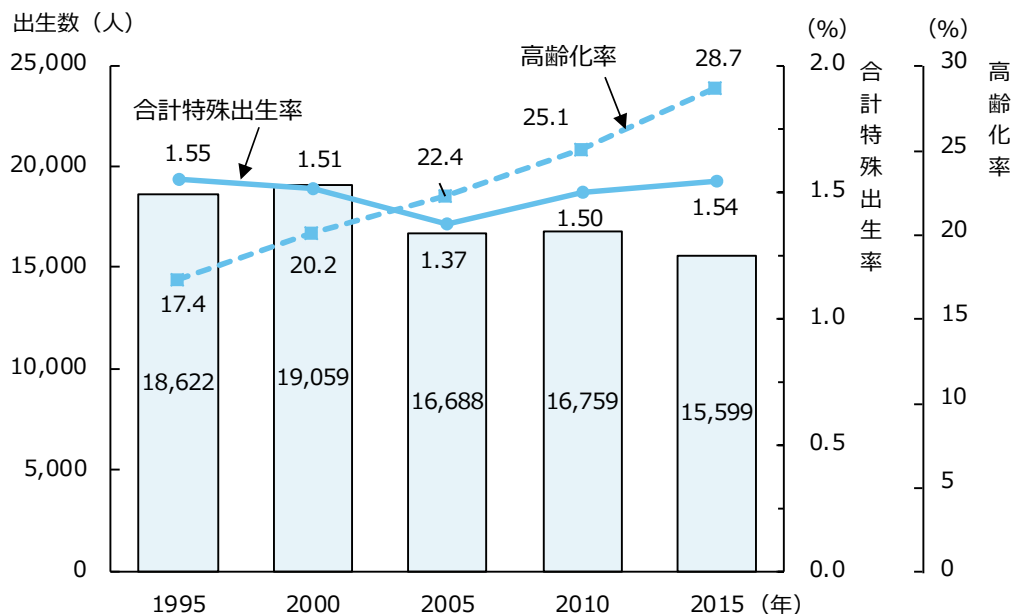
本県でも、全国と同じ傾向で少子高齢化が進行しており、2015年時点で、合計特殊出生率は全国よりも0.1%程度高く、高齢化率は2%程度高い値になっています。特に、現在の状況では、中山間地域で高齢化が著しく進行しています。

図3：岡山県の年齢3区分別人口の推移



出典：総務省統計局「国勢調査」

図4：岡山県の少子高齢化の状況



出典：出生数、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」による。高齢化率は総務省統計局「国勢調査」による

表 1 : 高齢者（65 歳以上）の市町村別状況（2017 年 10 月 1 日現在）

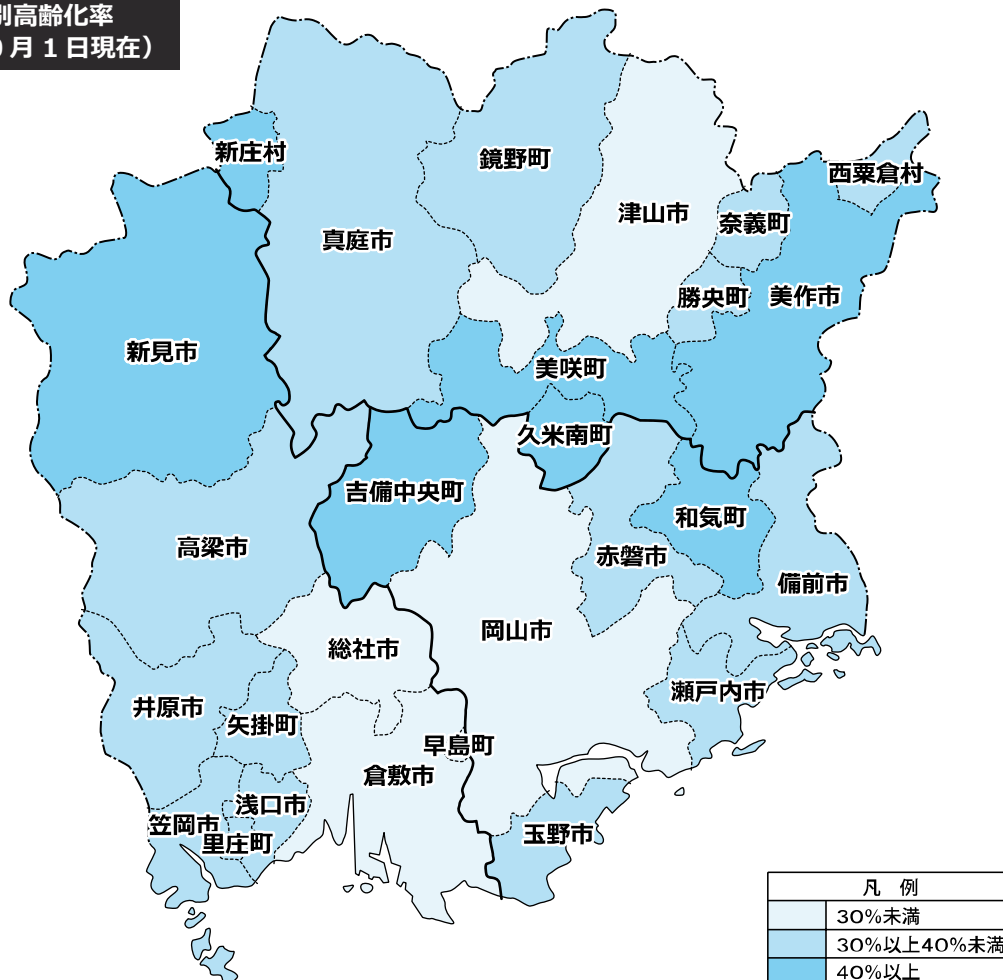
区分 市町村	総人口 A	高齢者数 B	高齢化率 B/A(%)	順位	区分 市町村	総人口 A	高齢者数 B	高齢化率 B/A(%)	順位
岡山市	721,294	181,477	25.6	27	津山市	102,028	30,345	29.9	23
玉野市	59,314	21,859	37.0	13	真庭市	44,751	17,152	38.4	9
備前市	33,925	12,884	38.1	11	美作市	26,993	10,931	40.6	3
瀬戸内市	36,433	12,358	34.1	18	新庄村	859	358	41.7	2
赤磐市	42,913	14,042	32.7	20	鏡野町	12,454	4,716	37.9	12
和気町	14,037	5,642	40.2	6	勝央町	11,039	3,371	30.6	21
吉備中央町	11,555	4,686	40.6	4	奈義町	5,807	1,966	33.9	19
備前県民局 計	919,471	252,948	27.9		西粟倉村	1,449	500	34.5	17
倉敷市	477,181	126,522	27.7	26	久米南町	4,723	2,088	44.2	1
笠岡市	48,755	17,589	36.2	14	美咲町	13,861	5,546	40.0	7
井原市	40,310	14,329	35.6	16	美作県民局 計	223,964	76,973	34.5	
総社市	67,381	18,850	28.2	24	県 計	1,908,447	555,368	29.6	
高梁市	31,045	12,217	39.8	8	全国	12,672 万人	3,515 万人	27.7	
新見市	29,516	11,853	40.3	5					
浅口市	33,697	12,079	35.9	15					
早島市	12,325	3,434	28.0	25					
里庄町	11,029	3,331	30.2	22					
矢掛町	13,773	5,243	38.1	10					
備中県民局 計	765,012	225,447	30.3						

(注 1) 市町村の数値は岡山県毎月流動人口調査による

(注 2) 全国の数値は総務省人口推計月報（概算値）による

(注 3) 高齢化率は、総人口から年齢不詳人口を除いた数値を基に算出しているため、総人口に占める高齢者数の割合とは一致しない

図 5 : 市町村別高齢化率
(2017 年 10 月 1 日現在)



2障害者の現状

ノーマライゼーション理念に基づき、障害のある人もない人も、ともに支え合い積極的な社会参加や地域での生活を通じて、自己実現を図り、日々快適にいきいきと暮らすことができる地域社会の形成を進める必要があります。

このため、障害のある人が、自立し、社会活動への参画や主体性を持った生活ができ、ゆとりとやすらぎを感じながら暮らせるまちづくりを推進する必要があります。

●岡山県の全体状況

本県では、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を所持する人の合計は、2018年3月31日現在で103,530人となっています。

種類別の手帳所持者の状況は、身体障害者手帳所持者 72,084人（構成比 69.6%）、療育手帳所持者 17,426人（同 16.8%）、精神障害者保健福祉手帳所持者 14,020人（同 13.5%）となっています。

表1：種類別の手帳所持者の状況（各年度3月31日現在）

区 分	2011年度		2015年度		2017年度	
	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)
身体障害者手帳所持者	85,186	79.1	75,187	72.9	72,084	69.6
療育手帳所持者	14,261	13.2	16,336	15.9	17,426	16.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	8,267	7.7	11,554	11.2	14,020	13.5
合 計	107,714	100.0	103,077	100.0	103,530	100.0

参考：岡山県人口 2018年4月1日現在 1,900,689人

●身体障害のある人の状況

身体障害者手帳を所持している人は、2018年3月31日現在で72,084人となっており、2011年度と比較すると大きく減少していますが、これは2012年度及び2013年度に、県データと市町村データの突合の結果、修正処理を行ったことが主な要因と考えられます。

障害区分別にみると、肢体不自由が39,019人（構成比 54.1%）と最も多く、次いで内部障害22,192人（同 30.8%）、聴覚・平衡機能障害5,627人（同 7.8%）、視覚障害4,435人（同 6.2%）、音声・言語障害811人（同 1.1%）となっています。

表2：身体障害者手帳所持者の障害区分別状況（各年度3月31日現在）

区 分	2011年度		2015年度		2017年度	
	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)
視 覚 障 害	6,006	7.1	4,788	6.4	4,435	6.2
聴覚・平衡機能障害	6,816	8.0	5,879	7.8	5,627	7.8
音声・言語障害	944	1.1	843	1.1	811	1.1
肢 体 不 自 由	48,636	57.1	41,847	55.7	39,019	54.1
内 部 障 害	22,784	26.7	21,830	29.0	22,192	30.8
合 計	85,186	100.0	75,187	100.0	72,084	100.0

表3：身体障害者手帳所持者の障害区別状況（各年度3月31日現在）

区 分	2011年度		2015年度		2017年度	
	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)
18歳未満	1,471	1.7	1,362	1.8	1,288	1.8
18歳以上65歳未満	22,111	26.0	18,228	24.3	17,668	24.5
65歳以上	61,604	72.3	55,597	73.9	53,128	73.7
合 計	85,186	100.0	75,187	100.0	72,084	100.0

表4：身体障害者手帳所持者の等級別状況（各年度3月31日現在）

区 分	2011年度		2015年度		2017年度	
	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)
1 級	26,092	30.6	23,553	31.3	23,127	32.1
2 級	13,838	16.2	11,386	15.1	10,773	14.9
3 級	11,551	13.6	10,294	13.7	9,801	13.6
4 級	21,622	25.4	19,857	26.4	18,784	26.1
5 級	5,998	7.0	4,988	6.7	4,798	6.7
6 級	6,085	7.2	5,109	6.8	4,801	6.7
合 計	85,186	100.0	75,187	100.0	72,084	100.0

(注) 等級の数字が小さいほど重度となる

●知的障害のある人の状況

療育手帳を所持している人は年々増加しており、2018年3月31日現在で17,426人となっており、平成2011年度から6年間で22.2%増加しています。

等級別にみると、療育手帳B（中・軽度）の所持者の増加が大きく、29.6%増となっています。また、年齢別にみると、65歳以上の人の増加が大きく、38.6%増となっています。

表5：療育手帳所持者の等級別状況（各年度3月31日現在）

区 分	2011年度		2015年度		2017年度	
	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)
療育手帳A	5,220	36.6	5,533	33.9	5,710	32.8
療育手帳B	9,041	63.4	10,803	66.1	11,716	67.2
合 計	14,261	100.0	16,336	100.0	17,426	100.0

(注) 療育手帳A：最重度及び重度、療育手帳B：中度及び軽度

表6：療育手帳所持者の年齢別状況（各年度3月31日現在）

区 分	2011年度		2015年度		2017年度	
	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)
18歳未満	3,426	24.0	3,912	24.0	4,106	23.6
18歳以上65歳未満	9,735	68.3	11,033	67.5	11,795	67.7
65歳以上	1,100	7.7	1,391	8.5	1,525	8.8
合 計	14,261	100.0	16,336	100.0	17,426	100.0

●精神障害のある人の状況

精神障害者保健福祉手帳を所持している人は年々増加しており、2018年3月31日現在で14,020人と、2015年度末からの2年間で21.3%増加しています。

年齢別にみると、18歳未満の所持者の増加が著しく、48.7%増となっています。

なお、精神障害者保健福祉手帳を所持している人や患者調査における「その他の精神及び行動の障害」の区分のうちには、発達障害のある人が含まれます。

表7：精神障害者保健福祉手帳所持者の年齢別状況（各年度3月31日現在）

区 分	2015年度		2016年度		2017年度	
	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)
18歳未満	154	1.3	203	1.5	229	1.6
18歳以上65歳未満	9,439	81.7	10,719	81.9	11,469	81.8
65歳以上	1,961	17.0	2,172	16.6	2,322	16.6
合 計	11,554	100.0	13,094	100.0	14,020	100.0

参考：厚生労働省の患者調査に基づく精神疾患のある患者の推計値

2014年患者調査を基に県内の患者を推計すると約59,000人となります。

表8：患者調査

区 分	2014年(人)
認知症（血管性など）	2,000
認知症（アルツハイマー病）	8,000
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11,000
気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	17,000
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	11,000
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1,000
その他の精神及び行動の障害	5,000
てんかん	4,000
精 神 疾 患 計	59,000

●難病のある人の状況

原因が明らかでなく、治療方法が確立されていない疾病で、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなるものを難病といいます。2018年3月31日現在で、難病のうち厚生労働大臣が指定難病として指定している330疾病の特定医療費受給者証の交付者数は15,783人、4疾病を対象とする「特定疾患治療研究事業」の医療受給者証の交付者数は144人となっています。

表9：特定医療費（指定難病）・特定疾患医療受給者証交付者数の状況（各年度3月31日現在）

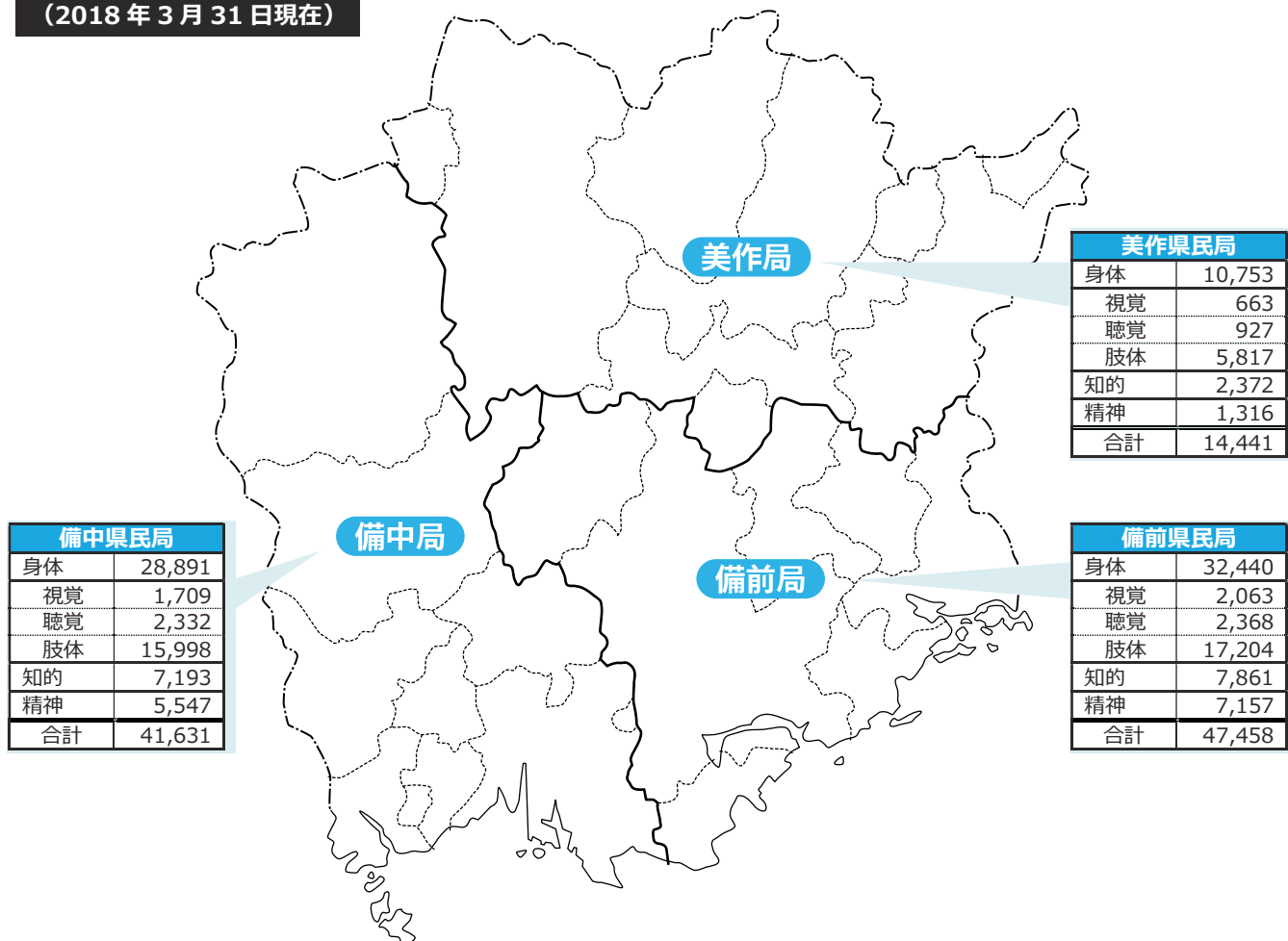
2012年度 (人)	2013年度 (人)	2014年度 (人)	2015年度 (人)	2016年度 (人)	2017年度 (人)
15,436	16,262	16,528	17,743	18,641	15,927

表 10 : 市町村別障害者数 (2018年3月31日現在)

市町村名	身体障害者数	知的障害者数	精神障害者数	計	市町村名	身体障害者数	知的障害者数	精神障害者数	計
岡山市	23,634	5,931	5,734	35,299	津山市	4,234	1,020	683	5,937
玉野市	2,360	513	478	3,351	真庭市	2,336	461	184	2,981
備前市	1,699	366	241	2,306	美作市	1,578	327	126	2,031
瀬戸内市	1,635	300	243	2,178	新庄村	47	7	0	54
赤磐市	1,759	445	298	2,502	鏡野町	614	120	68	802
和気町	707	151	89	947	勝央町	458	106	44	608
吉備中央町	646	155	74	875	奈義町	267	64	34	365
備前県民局 計	32,440	7,861	7,157	47,458	西粟倉村	77	34	5	116
倉敷市	16,435	4,388	3,763	24,586	久米南町	302	56	96	454
笠岡市	2,116	502	351	2,969	美咲町	840	177	76	1,093
井原市	2,053	427	280	2,760	美作県民局 計	10,753	2,372	1,316	14,441
総社市	2,259	617	369	3,245	合計	72,084	17,426	14,020	103,530
高梁市	1,673	322	219	2,214					
新見市	1,603	273	151	2,027					
浅口市	1,337	309	196	1,842					
早島町	400	106	62	568					
里庄町	374	76	64	514					
矢掛町	641	173	92	906					
備中県民局 計	28,891	7,193	5,547	41,631					

(備考) 身体障害者数、知的障害者数、精神障害者数はそれぞれ2018年3月31日現在の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者数を示す

図 1 : 県民局別障害者数 (2018年3月31日現在)



(参考)岡山県の交通拠点と移動状況

人口の高齢化の進展や、それに伴う自家用自動車を利用できない人口の増加等に備え、高齢者、障害者等が円滑に移動できる交通システムの実現を図る必要があります。

このため、バスや路面電車への超低床車両の導入を促進するとともに、鉄道駅、バスターミナル、空港、旅客船乗り場等の交通拠点で円滑な乗り降りや乗り換えができるように、整備を進める必要があります。

表 1：交通拠点の旅客数

【JR 駅別 1 日当たり乗車人員（平成 28 年度）】

順位	線名	駅名	普通(人)	定期(人)	合計(人)	順位	線名	駅名	普通(人)	定期(人)	合計(人)
1	山陽本線	岡山	33,382	33,833	67,216	19	山陽本線	金光	507	1,884	2,391
2	山陽本線	倉敷	8,227	11,012	19,239	20	姫新線	津山	758	1,249	2,007
3	山陽本線	新倉敷	2,593	5,171	7,764	21	伯備線	清音	530	1,465	1,995
4	山陽本線	中庄	2,373	5,168	7,541	22	伯備線	備中高梁	653	1,255	1,907
5	瀬戸大橋線	児島	2,489	2,800	5,289	23	赤穂線	邑久	488	1,263	1,751
6	山陽本線	庭瀬	1,144	3,067	4,211	24	瀬戸大橋線	大元	547	1,185	1,732
7	山陽本線	北長瀬	1,304	2,878	4,182	25	瀬戸大橋線	備前西市	513	1,068	1,581
8	瀬戸大橋線	茶屋町	1,173	2,720	3,893	26	赤穂線	大多羅	418	1,138	1,555
9	山陽本線	東岡山	942	2,812	3,754	27	山陽本線	上道	363	1,087	1,450
10	山陽本線	笠岡	1,219	2,473	3,692	28	山陽本線	熊山	163	1,264	1,426
11	山陽本線	西川原	792	2,761	3,553	29	山陽本線	和気	379	993	1,372
12	赤穂線	西大寺	816	2,705	3,521	30	吉備線	備中高松	344	968	1,312
13	伯備線	総社	938	2,454	3,392	31	山陽本線	里庄	359	939	1,298
14	山陽本線	高島	1,082	2,196	3,279	32	宇野線	宇野	491	799	1,290
15	山陽本線	鴨方	697	2,464	3,161	33	津山線	法界院	399	878	1,276
16	瀬戸大橋線	妹尾	879	2,272	3,151	34	瀬戸大橋線	早島	374	808	1,181
17	山陽本線	西阿知	810	2,135	2,945	35	赤穂線	長船	317	855	1,172
18	山陽本線	瀬戸	666	1,994	2,660						

(注1) 資料：JR西日本岡山支社
 (注2) 1日1,000人以上の駅を示す。
 (注3) 乗降客数は、上記数値の2倍と推計される。

【水島臨海鉄道（1日当たり）（平成 28 年度）】

駅名	乗車(人)	降車(人)	合計(人)
倉敷市	2,241	2,242	4,483
水島	650	652	1,302

(注1) 1日1,000人以上の駅を示す。
 (注2) 平成28年岡山県統計年報から算出。

【井原鉄道（1日当たり）（平成 25 年度調査）】

区分	普通(人)	定期(人)	合計(人)
清音	214	427	641
矢掛	95	255	350
井原	205	194	399

(注1) 資料：井原鉄道(株)
 (注2) 1日300人以上の駅を示す。
 (注3) 乗降客数は、上記数値の2倍と推計される。

【岡山電気軌道（1日当たり）（平成 28 年度）】

区分	乗客(人)
路線全体	10,409

(注1) 平成28年岡山県統計年報から算出。

【航空（1日当たり）（平成 28 年度）】

区分	乗客数(人)	降客数(人)	合計(人)
岡山空港	1,930	1,997	3,927

(注1) 旅客乗降数には、不定期客及び遊覧客は含まない。
 (注2) 平成28年岡山県統計年報から算出。